

埼玉県立大学 大学歌完成披露式典



平成28年11月28日（月）

12時20分～50分

埼玉県立大学 講堂

次 第

- 1 開 式
- 2 大学歌披露
- 3 感謝状贈呈
- 4 表 彰
- 5 理事長あいさつ
- 6 大学歌斉唱
- 7 閉 式

『埼玉県立大学 大学歌』 制定について

平成27年度に大学院博士後期課程が設置され、教育と研究の両輪が揃ったことを契機として平成27年9月に「基本理念」を制定しました。

「基本理念」は本学の目指すところを明示し、教職員がそれを共有し一致結束してその実現を目指すとともに、学生が大学生・大学院生としての自覚を新たに
する契機とすることを期待するものです。そこで、この大きな節目に、学生、教
職員をはじめとする本学に関係する方々が大学への愛着をより深め、基本理念が
未永く本学の学風として定着していくよう、大学歌を制作しました。

基本理念

本学は、陶冶、進取、創発を基本理念として、保健医療福祉に関する教育・研究の中核
となって地域社会に貢献します。

【陶冶】 誠実で温かい心と主体性を持ち、多様な価値観を尊重する人間性を磨き高める

【進取】 広く先達に学びつつ、未来を志向する教育・研究に取り組む

【創発】 多様な連携を通じて、予測を遥かに超える新たな価値を創造する

(平成27年9月28日制定)

大学歌制定までの流れ

平成27年 4月	大学院博士後期課程 設置
9月	基本理念 制定
12月	大学歌制定について理事会 了承
平成28年 2月	大学歌企画委員会 設置
	歌詞募集 開始
5月	歌詞募集 終了(応募23作品)
6~7月	歌詞選考
	◎ 大学歌企画委員会委員に加え、学生代表、卒業生代表、 保護者代表も加わり歌詞選考を行った。
	《歌詞選考の視点》
	1 大学の基本理念を踏まえているか
	2 大学への誇りや愛着を分かち合えるものか
	3 本学をイメージしやすい歌詞か
	4 本学の大学歌として好ましい歌詞か
8月	教授会、教育研究審議会で協議
9月	歌詞決定
	作曲依頼、曲完成
11月	大学歌制定
	大学歌完成披露式典

♪ 作詞者紹介

丸山 暁さん

埼玉県立大学
保健医療福祉学部
社会福祉学科
4年生



大学歌歌詞に選ばれて

この度、大学歌に私の歌詞が採用されたことにとっても驚いています。大学歌の募集を知り「これは県大に名前を残すチャンスだ」と思い、応募しました。

詞を書くのは初めてだったので、伝えたい内容をうまく言葉として表現するのが難しく苦労しました。大学の基本理念である「陶冶・進取・創発」の意味を調べ直してみると、使い慣れない言葉ではありましたが、それぞれの意味に大学で学ぶ私たちの姿が想像できました。

4年生として在学している立場から実際に感じたことや県大らしさを歌詞に織り込むことで、他の学生も共感できるものにしたいと思い、難しい言葉を頻出するのではなく、歌ったときに意味を理解できるよう心がけました。

歌詞の中から、志を忘れず大学の仲間、先生と共に切磋琢磨し高め合う姿を想像していただき、県大の良さを改めて感じていただけたら嬉しいです。

♪ 作曲者紹介

高橋 浩美さん

埼玉県立秩父特別支援学校 勤務
「旅立ちの日に」作曲者
彩の国特別功労賞受賞
(平成23年度)
第51回埼玉文化賞受賞
(平成20年度, 埼玉新聞社主催)
文部科学大臣優秀教員
表彰受賞(平成18年度)



大学歌の旅立ちの日に

2学期が始まって間もない9月8日に、私が勤務する秩父特別支援学校の校長先生から大学歌作成のお話をいただきました。

丸山さんが作詞した歌詞をいただいてから2日後、9月18日の真夜中にこのメロディが天から降りてきました。次の日には伴奏譜を書き上げました。

テレビではリオパラリンピックの閉会式のパフォーマンスが流れていました。大会に参加した選手や、大会を盛り上げたスタッフや客席の方々の情熱がテレビ画面を通して伝わってきて、ドキドキしながら五線紙に向っていたのを覚えています。

大学の先生方から、皆さんが将来の志をしっかりと持って頑張っていらっしゃるお話を伺いました。

これからの社会を作っていく皆さんに、情熱をもってこの歌を歌い、学び、生きていってほしいという思いをいっぱい込めて作りました。

私も皆さんに負けないように生き、ずっとずっと応援していきたいと思っています。

埼玉県立大学 大学歌

丸山 暁 作詞
高橋浩美 作曲

♩=112 堂々と

mf

1. す み わ た る お お ぞ ら す れ ん け い の お か
2. ふ き ぬ ー け る か ー ぜ そ て よ ぐ き ぎ の は
3. す き と ー お る ひ か り て ら す み ち す じ

じ ん か く の と う や か お る ー ま な び や
し ん し ゅ の き し ょ う や ー み つ る ー ま な び や
そ う は つ の き が い み な ぎ る ま な び や

(※小玉音符は3番)

ひ と に ー よ ー り そ い ひ ろ く あ い す
こ こ ろ ぎ し た か ー く え ろ ち き い す
こ こ ろ ー ひ ー と つ に え せ っ さ た く ま す } さ

あ さいたま けんり つだいがくのともよ

1. 2. 3.

とともにもにみがかんせいれのこころ
 とともにもにみがかんせいれのこころ
 とともにもにみがかんせいれのこころ

rit.

一、澄み渡る大空 連携の丘
 じんかくとうや かんあ まなや
 人格の陶冶 薫る学び舎
 ひとよそ ひろく あいす
 人に寄り添い 博く愛す

二、吹き抜ける風 そよぐ木々の葉
 しんしゅ きしやう ちつるまなや
 進取の気象 充つる学び舎
 志高く 叡智究む

三、透き通る光 照らす道筋
 そうはつ きがひ なるまなや
 創発の気概 漲る学び舎
 心ひとつに 切磋琢磨す

三、透き通る光 照らす道筋
 さあ 埼玉県立大学の友よ
 ともに築かん 未来の礎

三、透き通る光 照らす道筋
 さあ 埼玉県立大学の友よ
 ともに築かん 未来の礎

平成二十八年十一月一日制定

埼玉県立大学 大学歌

す わた おおぞら れんけい おか
一 澄み渡る大空 連携の丘
じんかく どうや かお まな や
人格の陶冶 薫る学び舎
ひと よ そ ひろ あい
人に寄り添い 博く愛す
さいたまけんりつだいがく とも
さあ 埼玉県立大学の友よ
とも みが せいれん ころろ
共に磨かん 清廉の心

ふ ぬ かぜ きぎ は
二 吹き抜ける風 そよぐ木々の葉
しんしゅ きしょう み まな や
進取の気象 充つる学び舎
ころろざしたか えいちきわ
志 高く 叡智究む
さいたまけんりつだいがく とも
さあ 埼玉県立大学の友よ
とも きず みらい いしずえ
共に築かん 未来の礎

す とお ひかり て みちすじ
三 透き通る光 照らす道筋
そうはつ きがい みなぎ まな や
創発の気概 漲る学び舎
ころろ せっさたくま
心ひとつに 切磋琢磨す
さいたまけんりつだいがく とも
さあ 埼玉県立大学の友よ
とも あゆ きぼう あす
共に歩まん 希望の明日へ

S A I T A M A P R E F E C T U R A L U N I V E R S I T Y

